

悪性軟部腫瘍

エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」の

治療を受ける患者さんへ

監修

帝京大学医学部
整形外科科学講座 主任教授 河野 博隆 先生



目次

はじめに	3
悪性軟部腫瘍とは?	4
I. 治療をはじめる前に確認すること	5
II. エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」とは?	6
Q1 どのようなお薬ですか?	
Q2 どのような投与スケジュールですか?	
Q3 投与中に気をつけることは何ですか?	
III. 主な副作用とその対処法	9
・ 副作用に対する基本的な心構え	
・ 吐き気(嘔吐)・食欲低下	
・ 疲労感(だるさ)	
・ 口内炎	
・ 下痢・便秘	
・ 骨髄抑制による感染症	
・ 末梢神経障害(手足のしびれなど)	
・ その他の副作用(肝機能障害、間質性肺炎、皮膚粘膜眼症候群、 多形紅斑、脱毛、味覚異常)	
IV. 治療中の体調を記録しましょう	18
V. こんな場合はすぐに連絡を!	19

はじめに

悪性軟部腫瘍は、希少がんの一つです。

治療は、外科的治療により病変を取り除くことが基本とされています。しかし、悪性軟部腫瘍には、多くの組織型が存在し、病気の種類・進行状況や患者さんの状態により、外科的治療以外に薬物療法や放射線療法などが行われる場合もあります。

本冊子は、エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」で悪性軟部腫瘍の治療を受ける患者さんに、お薬の特徴、投与方法、主な副作用とその対処法などを解説したものです。日常生活への影響や、病気の進行状況や年齢、全身状態など患者さん個々に合わせた治療選択をすることが重要です。

ぜひ、本冊子の内容を十分に理解したうえで、不安を解消し、前向きに治療に臨んでいただければと思います。ご自身の治療に関してわからないことや心配なこと、もっと知りたいことなどが出てきましたら、遠慮なく医療スタッフ(担当医師、看護師、薬剤師など)にご相談ください。

監修

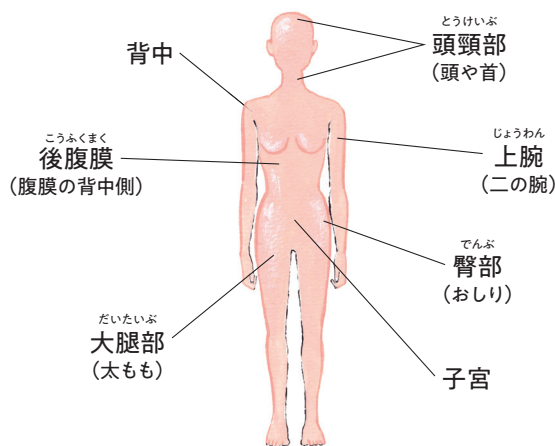
帝京大学医学部
整形外科科学講座 主任教授 河野 博隆 先生

悪性軟部腫瘍とは？

悪性軟部腫瘍は、軟部組織（脂肪、筋肉、神経、血管といった体のやわらかい部分）にできる「がん」です。

そのやわらかい部分に、「しこり」が確認できます。このしこりに、大きくなる（広がる）、痛みがある、硬いなどの特徴があると、良性ではなく、悪性（悪性軟部腫瘍）の可能性があります。早めにきちんと調べるのが大切です。

悪性軟部腫瘍がしやすい体の部位



登録の多い組織型

- ・ 脂肪肉腫
- ・ 未分化多形肉腫 (UPS)
- ・ 粘液線維肉腫
- ・ 平滑筋肉腫
- ・ 滑膜肉腫
- ・ 悪性末梢神経鞘腫瘍
- ・ 横紋筋肉腫

など

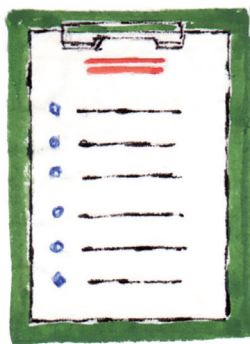
参考:日本整形外科学会 監修: 軟部腫瘍診療ガイドライン2020(改訂第3版)、南江堂、2020.
を参考に作図

I. 治療をはじめる前に確認すること

エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」を安全に投与するために、以下の項目について、1つでもあてはまる項目がある方は、あらかじめ医療スタッフに必ずお伝えください。

- ☒ 妊娠している、または妊娠している可能性がある。
- ☒ 授乳中である。
- ☒ 以前にお薬や注射の治療を受け、発疹やかゆみなどが出たことがある。
- ☒ 現在、他の病院で治療を受けている、またはこれから受けようとしている。
- ☒ 現在、何かのお薬（市販薬、サプリメントも含む）を服用している。

その他、わからないこと、不安なことがありましたら、医療スタッフにご相談ください。



Ⅱ. エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」とは？

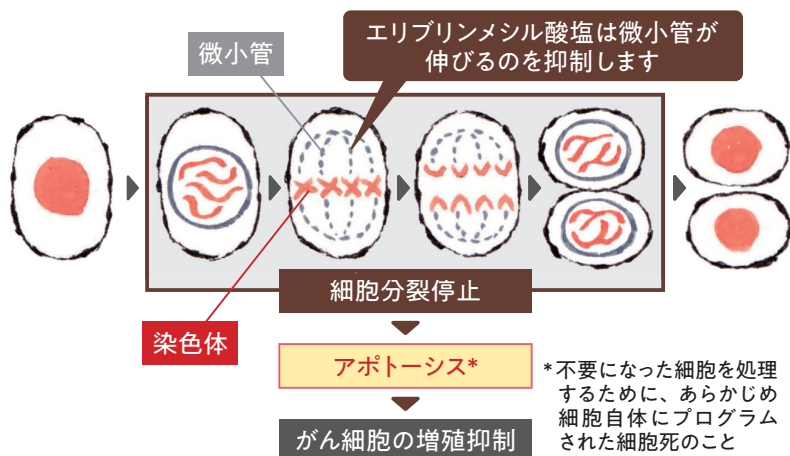
Q1. どのようなお薬ですか？

A

天然成分を由来とした抗がん剤で、
がん細胞の分裂を妨げて増殖を抑えます。

エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」は、クロイソカイメンという海綿動物から取り出した天然成分がもつ抗がん作用に着目し、合成・開発された有効成分であるエリブリンメシル酸塩を含む抗がん剤です。

がん細胞は細胞分裂時に中心体から『微小管』^{びしょうかん}を伸ばして染色体を2つに分け、無限に分裂（増殖）を繰り返してかたまりを作り、リンパや血流を介して他の臓器や全身に広がることもあります。エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」はこの『微小管』が伸びないようにすることで、がん細胞の分裂を止め、アポトーシス*を誘導し、がん細胞の増殖を抑制します。



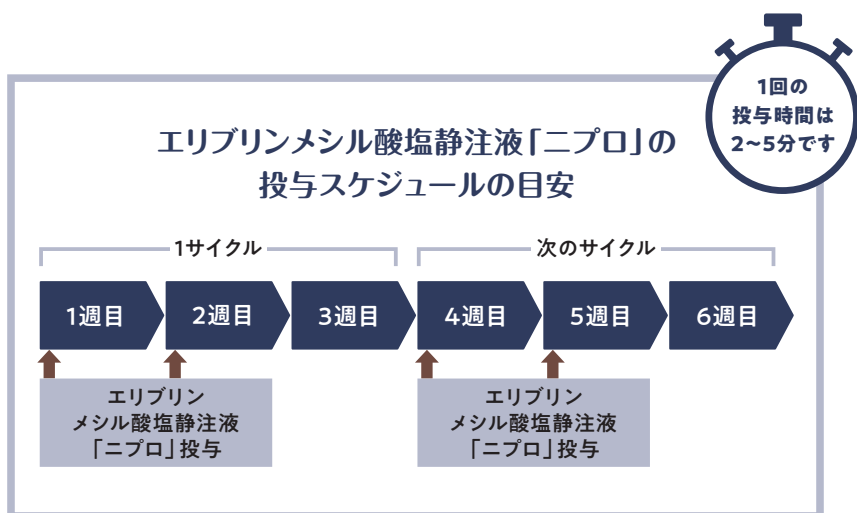
Q2. どのような投与スケジュールですか？

A

週1回、2週続けて投与し、3週目はお休みします。
通常、この3週間のサイクルを繰り返します。
また、1回の投与時間は、2～5分です。

エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」は、2～5分かけて静脈に投与します。

投与スケジュールは、3週間を1サイクルとしています。週1回の投与を2週間続け、3週目はお休み(休薬)し、これを繰り返します。また、できるだけ安全に治療が継続できるよう、治療中は血液検査の結果や副作用の状況を確認しながら、お薬の投与を延期・中止したり、お薬の量を減らしたりして、投与スケジュールを調整します。



Ⅱ. エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」とは？

Q3. 投与中に気をつけることは何ですか？

A 投与中は安静にしてください。

お薬が血管の外に漏れないよう、投与中は安静にしてください。
また、まれにアレルギー症状があらわれることもあります。

以下のような症状がみられたときは、すぐに医療スタッフにお知らせください。

- ・ 注射部位に違和感、痛み、焼けるような熱さを感じる
- ・ 注射部位周辺が赤くなる、腫れる
- ・ からだがかゆい、発疹が出る
- ・ ほてりを感じる
- ・ 息苦しい、心臓がドキドキする
- ・ 吐き気、腹痛がする
- ・ 寒気がする、冷や汗が出る

その他、気になる症状があらわれた場合も
同様に医療スタッフにすぐに伝えてください。



Ⅲ. 主な副作用とその対処法

● 副作用に対する基本的な心構え

- ・ 副作用は必ず起こるものではありません。その種類や程度、あらわれる時期には個人差があります。
- ・ 予想される副作用を知っておけば、**あらかじめ対策を立てておくことで、予防できるものもあります。**
- ・ 症状がつらいときや長引くとき、気になる症状やいつもと違う症状があるときには、どんなささいなことでも**我慢せず医療スタッフにご相談ください。**

エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」の 主な副作用とあらわれやすい時期*

投与当日～翌日以降	・ 吐き気 ^{おうと} (嘔吐) ・ 食欲低下	→10頁
投与後2～3日頃	・ 疲労感(だるさ)	→11頁
投与後2～10日頃	・ 口内炎 ・ 下痢・便秘	→12、13頁
投与後1週間以降	・ 骨髄抑制による感染症	→14、15頁
投与後1～3ヵ月頃	・ 末梢神経障害(手足のしびれなど)	→16頁

*この発現時期は目安です。これ以外の時期でも起こることがあります。
また、別の副作用も起こることがあります。

Ⅲ. 主な副作用とその対処法

● 吐き気(嘔吐)・食欲低下

投与当日～
翌日以降

吐き気や食欲低下は、**投与後すぐ**にあらわれることが多いですが、**翌日以降**にあらわれる場合もあります。

予防のために

- ・ 治療を受ける日は、食事の量を控えておきましょう(例えば半分にするなど)。
- ・ からだを締め付けない、ゆったりとした衣服を着用しましょう。

症状があるときの対応

- ・ 食べたいもの、食べられるものを少量ずつゆっくり食べましょう。
- ・ 食事ができない場合は、冷たい水でうがいをしたり、氷やキャンディーなどを口に含んで、口の中を清潔にしましょう。
- ・ 窓を開けるなどして室内の換気をよくして、リラックスしましょう。



● 疲労感(だるさ)

投 与 後
2~3日頃

『からだのだるい/重い』『疲れやすい』といった身体的・精神的な疲労感があらわれることがあります。多くの場合、**投与後2~3日頃**にあらわれます。

症状があるときの対応

- ・ 無理をせず、睡眠や休養を十分にとりましょう。
- ・ 入浴やマッサージによりからだを温めて血液やリンパの流れをよくすることで、症状が改善することがあります。
- ・ 自分なりのリラックス法(音楽や散歩、読書、映画鑑賞など)で、気分転換しましょう。



Ⅲ. 主な副作用とその対処法

● 口内炎

投 与 後
2~10日頃

口内炎があらわれやすい時期は、**投与後2~10日頃**です。
投与前からの口腔ケアが最も大切です。

予防のために

- ・ こまめにうがいをして口腔内を清潔に保ちましょう。
- ・ 歯ぐきを傷つけないようにやわらかい歯ブラシで歯を磨きましょう。
- ・ 舌のブラッシングも習慣づけましょう。
- ・ 虫歯は前もって治療しておきましょう。

症状があるときの対応

- ・ 口内炎があらわれたときには、食事の工夫*をしましょう。
- ・ 口の中の痛みや腫れ、傷による出血などがわかったときは医療スタッフにご相談ください。
- ・ 市販のうがい薬などで症状が悪化してしまうこともあるので、医療スタッフの指導のもとで行いましょう。

* 冷たいもの、室温程度に冷めたもの、なめらかな食感でうす味のもの、やわらかく調理したもの、油分が多い料理を食べる。ストローで飲む。



● 下痢・便秘

投与後
2～10日頃

下痢や便秘も**投与後2～10日頃**にあらわれることがあります。

症状があるときの対応

下痢には

- ・ 食事は消化の良いものを、少量ずつ、何回かに分けて食べましょう。
- ・ 刺激の強いもの、脂っこいものは避けましょう。
- ・ 水分(温かいお茶や常温のスポーツ飲料など)を十分に摂りましょう。
- ・ トイレの後は肛門の周囲を洗浄して、清潔にしましょう。
- ・ 症状が激しい、長引く、排便回数が1日4回以上の場合
は、医療スタッフにご相談ください。

便秘には

- ・ 水分を十分に摂りましょう。
- ・ 食物繊維が多く含まれる食品を摂りましょう。
- ・ 担当医師に相談のうえ、適度な軽めの運動やお腹の
マッサージをしましょう。



Ⅲ. 主な副作用とその対処法

● 骨髄抑制による感染症

エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」の投与により、細菌からからだを守る役割の白血球（好中球）が減ってくる**投与後1週間以降（～2週間）**は、からだの抵抗力が低下して風邪や肺炎などに感染しやすい時期となります。

以下の症状があらわれたときには
担当医師にすぐに連絡してください

- ・ 持続する38℃以上の発熱
- ・ のどの激痛と咳
- ・ 寒気やふるえ
- ・ 持続する激しい下痢（軟便）や腹痛（腰やわき腹の場合も）
- ・ 頻尿、排尿時の痛み



発熱と下痢が同時に起こった場合は要注意です！

予防のために

- ・ こまめに手洗い(石けんで)、うがいをしましょう。
(起床時、帰宅時、食事・トイレの前後、お薬の服用前)
- ・ 毎日入浴し、からだを清潔に保ちましょう。
(できない場合は短時間のシャワーでも可)
- ・ 排便後は肛門の周りを清潔にしましょう。
(トイレはできるだけ温水洗浄便座を使用するのがよいでしょう)
- ・ ケガをしないように気をつけましょう。小さな傷でも十分に手当てしましょう。
- ・ 人混みを避け、外出時はマスクを着用しましょう。
- ・ 毎日体温を測りましょう。
- ・ 予防接種は担当医師に相談してから決めてください。



Ⅲ. 主な副作用とその対処法

● 末梢神経障害(手足のしびれなど)

投与後
1~3ヵ月頃

『手足がしびれる』『手足に力が入らなくなる』『指先が痛くなる』『冷たい・熱いという感覚が鈍くなる』といった末梢神経障害があらわれることがあります。あらわれやすい時期は、**投与後1~3ヵ月頃**です。そのため、物を落としやすい、つまずきやすい(転倒しやすい)、ボタンがかけにくい、といった日常生活に影響を及ぼす症状があらわれることがあります。

症状があるときの対応

- ・ 足がしびれるために起こる転倒に気をつけましょう。
- ・ 感覚(温感)が鈍いために起こるやけどに気をつけましょう。
- ・ 手足に力が入らない場合は、重いものを持たない、あるいは家族など周りの方に手伝ってもらうようにしましょう。
- ・ 入浴やマッサージは、症状を和らげるのに効果的です。



● その他の副作用

重大な副作用には肝機能障害と間質性肺炎、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑があります。以下の症状があらわれたときには、**担当医師にすぐに連絡してください。**

副作用名	主な症状	気をつけること
肝機能障害	・ からだがだるい ・ 白目やからだが黄色くなる ・ 吐き気	自覚症状だけではわかりにくい ため、血液検査、肝機能検査を 忘れずに受けましょう！
間質性肺炎	・ 息苦しい、息切れ ・ 乾いた咳 ・ 発熱	特に長びく咳、発熱、息切れなど には要注意です！
皮膚粘膜眼症候群、 多形紅斑	・ 発熱 ・ 眼が赤くなる ・ 唇、口内がただれる ・ 赤く盛り上がる皮疹	粘膜や皮膚の症状があり、 発熱を伴う場合は要注意です！

脱毛や味覚異常があらわれることもあります。

症状があるときの対応

脱毛には

- ・ 帽子や、ウィッグ、バンダナ、スカーフを用意しておきましょう。
- ・ 刺激の少ないシャンプー（弱酸性シャンプーやベビーシャンプーなど）で髪を洗いましょう。
- ・ 脱毛がはじまる前に髪を短くカットしておき、パーマや髪を染めたりするのは避けましょう。
- ・ ヘアブラシはやわらかいものを使用しましょう。

味覚異常には

- ・ 食欲が湧かないときは、無理をせず食べられるものを可能な範囲で食べましょう。
- ・ 味覚が変わってしまったときは、家族に協力してもらい、味付けなど食事メニューを工夫したり、食事を楽しめる環境を整えてもらいましょう。

Ⅳ. 治療中の体調を記録しましょう

「体調管理ダイアリー」を活用しましょう

エリブリンメシル酸塩静注液「ニプロ」で治療中は体調の変化に注意し、副作用があらわれた場合には早めに対処できるようにしておくことが大切です。

「体調管理ダイアリー」を活用して、毎日の体調や気になることを記録しておきましょう。ダイアリーをつけることで、あなたのからだの状態を知ることができ、副作用を早く見つけられます。また、担当医師が治療計画を立てるうえでも役立つ情報となります。毎日の体調をチェックしながら気になることがあれば、遠慮せず医療スタッフに相談しましょう。

体調管理ダイアリー
—治療日記—



監修
岡山大学病院 放射線科/放射線科部長 森 英樹 先生

年 月 日 ~ 年 月 日

治療日記 毎日、記録しましょう。

記入日	3/19	/	/	/	/	/	/	/
投与した日	☐							
体重(kg)	66.0							
体温(℃)	36.1							
血圧	127/84	/	/	/	/	/	/	/
	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常
食事の量	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない
	食べられない	食べられない	食べられない	食べられない	食べられない	食べられない	食べられない	食べられない
排便	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
排便(回)	2							
下痢(回)	2							
吐き気(回)	1							

副作用を感じたものにチェックを入れてください。

嘔吐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
発熱	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
息切れ/咳	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

あてはまる数字に○を入れてください。
0: なし 1: 軽い程度(食事や歩行まで可) 2: 強い程度(食事や歩行が難しいほど)

疲労感	0	○	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2
手足のしびれ/痛み	0	1	○	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2
筋肉痛/関節痛	0	○	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2
むくみ	0	○	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2

先生に伝えたいこと
3/19は特に吐き気がひどかった。

V. こんな場合はすぐに連絡を!

以下のような症状を自覚したときは、すぐに病院に連絡してください。

- ・ 持続する38℃以上の発熱（悪寒・ふるえを伴うことも） →14頁
- ・ 我慢できない腹痛（腰やわき腹の場合も） →14頁
- ・ 吐き気が1日に何回もあり、しかも水分もとれない →10頁
- ・ 持続するひどい下痢（同時に発熱が起こることも） →14頁
- ・ 排尿時の痛み、焼けるような熱さ →14頁
- ・ 白目やからだが黄色くなる →17頁
- ・ 乾いた咳が数日続く、息が苦しい →17頁

かかりつけの医療機関情報

医療機関名

電話番号

担当医師名

いつでも連絡や相談ができるように電話番号を控えておきましょう。

V. こんな場合は
すぐに連絡を!

＊ お気軽にお声がけください ＊

副作用は人それぞれで、必ずしもすべての患者さんにあらわれるとは限りません。また、時期や種類、程度も患者さんによって異なります。もし副作用があらわれた場合は、気軽に医師や看護師、薬剤師にお声がけください。

